



第29号

発行 伊仙町議会

〒891-8293

大島郡伊仙町伊仙1842

事務局 ☎ (0997) 86-3111

編集 議会広報編集委員会

印刷 (有)奄美新生社印刷

伊仙町議会だより



授業中の風景



2階から眺める校庭



とても明るい渡り廊下



校舎全景

新しく生まれ変わった犬田布中学校 (モデルの生徒さん達も新校舎完成を喜んでいる様子。)

目 次

- 平成22年第3回臨時会・第4回定例会議決結果
並びに陳情・発議一覧…………… 2 P
- 議会の行政調査
(徳州園・障がい者支援センター「いっぽ」・町内各学校) …… 3 P
- 平成22年第4回定例会一般質問一覧(5名) …… 4 P~6 P
- 東日本大震災関連
奄美群島市町村議会議員大会に関するお知らせ…………… 7 P
- 議会のうごき 他…………… 8 P~9 P
- 編集後記 他…………… 10 P

平成22年 第3回伊仙町議会臨時会 全議案(会期11/24)

番号	議 案 等	採決結果
承認第12号	平成22年度伊仙町一般会計補正予算(第4号)の専決処分の承認	承認
議案第43号	伊仙町報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案第44号	伊仙町長等の給与等に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案第45号	伊仙町教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案第46号	伊仙町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案第47号	伊仙町長等の給与の特例に関する条例の制定	修正可決
議案第48号	平成22年度伊仙町一般会計補正予算(第5号)	原案可決
議案第49号	平成22年度伊仙町簡易水道特別会計補正予算(第3号)	原案可決

平成22年 第4回伊仙町議会定例会 全議案(会期12/13~17)

番号	議 案 等	採決結果
議案第50号	伊仙町企業誘致条例の制定	可決
議案第51号	字の区域変更	可決
議案第52号	平成22年度伊仙町一般会計補正予算(第6号)	原案可決
議案第53号	平成22年度伊仙町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	原案可決
議案第54号	平成22年度伊仙町介護保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第55号	平成22年度伊仙町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第56号	平成22年度徳之島交流ひろば「ほーらい館」特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第57号	平成22年度伊仙町簡易水道特別会計補正予算(第4号)	原案可決
議案第58号	県営畑地帯総合整備事業分担金の負担割合について	可決

平成22年 第4回伊仙町議会定例会 陳情・発議一覧

番号	件 名	採決結果
陳情第16号	「商工会に対する平成23年度補助金等に関する要望書」	採 択
陳情第17号	「名瀬測候所の地方気象台への格上げを求める陳情」	採 択
陳情第18号	「環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)への対応に関する陳情書」	採 択
陳情第19号	「現行保育制度の維持・拡充と子育て支援施策拡充を求める陳情」	採 択

陳情件数 以上4件

発議第11号	名瀬測候所の地方気象台への格上げを求める意見書	可 決
発議第12号	環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)への対応に関する意見書	可 決
発議第13号	現行保育制度の維持・拡充と子育て支援施策の拡充を求める意見書	可 決

発議件数 以上3件

議会の行政調査 (平成22年12月15日)

午前行程表：徳州園～障がい者支援センター「いっぽ」

平成22年12月15日(水)、平成23年5月に開催される奄美群島議会議員大会(伊仙町会場)に提出予定の「徳之島農業高校跡地に大島養護学校分校の設置」に向けて、議員14名他、関係課長等による行政調査が行われました。

最初の訪問先は、「徳州園(徳之島町亀徳)」を視察研修し、当園の吉留理事長より事業内容の詳しい説明を受け、施設内を研修させて頂きました。

当園の年齢層は19歳から80歳までで、自身の障がいの段階により様々な作業を行い、特に障がいの軽い方は農作業を通して収穫と収益の喜びを感じて頂いている現状との事でした。

次に訪問した徳之島障がい者支援センター「いっぽ」では、芝所長より施設の名称の由来(一歩外へという思いから)や作業所の一日の流れの説明を受け、実際の作業風景(牛乳パック等を使っての紙すき)を拝見させて頂きました。

この施設の事業運営方針は、自立した生活・社会生活を営むことができるよう、就労の機会を提供し、生産活動その他の活動の機会を通じて、その知識及び能力の向上を目的とし、今回視察研修させて頂いたうえで、目的に沿った活動が着実に実践されていると強く感じました。



身障者施設の概要を施設職員から説明をうける。



ひとりずつ手作りで再生紙を利用した商品を作り上げていく。



不用な紙を再生するべく、紙すきの工程を行っている様子。



施設内にあるハウスにおいて野菜等を栽培し、自立的発展を促す。

午後行程表：喜念小～馬根小～鹿浦小～阿権小～糸木名小

同日の午後からは、昨年の奄美豪雨災害を受けて、町内小規模校の体育館が災害に対する避難場所として適しているか、また遊具の安全点検を踏まえた調査を行いました。近年、町内における学校の新校舎建設が進むうえで、生徒児童に対する安全性はもとより、災害発生時の避難所としての機能性も重要であり、それに伴う小規模校施設の安全性が議会で検討され、調査当日各学校長から説明を受け、それを踏まえて町執行部に危険防止の為、修理等に対応できるものは迅速に行うように要望を致しました。



正・副議長が実際に遊具施設を利用し、安全性を確認。



小規模学校の至る所で施設の老朽化が進んでいる。



体育施設の劣化も激しく、早急な対応が求められる。



せっかくの遊具も張紙がされ、一刻も早い修繕が必要である。

平成二十二年 第四回定例会 一般質問



佐藤隆志議員

(土地盤整備について)

問 西部地区(東犬田布)の土地改良事業について、平成22年度の政府予算案では、奄振事業の農業農村整備事業予算は、年々大幅カットで厳しい状況であるが、今後予定があるのか。

答 土地改良事業予算も年々厳しい状況であり、平成22年、23年に計画されている事業も3割から6割くらいカットされる。そのため、徳之島ダム completionも2年から3年くらい遅れる予定で。

今後要望書など提出し陳情を続けられ、平成38年くらいには着工できる予定です。

(カラス対策について)

問 3月の定例会でも質問しました、西部地区のカラス対策について、畜産農家をはじめ、いろいろな所から苦情が出ています。3月よりも異常発生して、このままにしておくとならば被害も出てきそうに感じます。

その後対策はどうなったか。

答 カラスの場合、保護鳥でもあり、捕獲する期間も決まっております、今後猟友会の協力を得て、検討していく。

(町営住宅整備について)

問 西犬田布住宅のトイレの水洗化はできないものかと相談がありますが、予定はあるのか。

答 財政上厳しい状況であるが、耐用年数を見ながら随時、計画を立てて水洗化していく予定です。



上木 勲議員

(町財政の見通しと財政健全化の努力について)

問 一世の中不況・不景気の話ばかりで気持ちも減入るが伊仙は大丈夫だろうか(言うは易し、行うは難し)、町議会議員として自らちゃんと行動している

か」など最近町民から厳しい質問を受ける事が多くなってきました。ここで先ず自分自身、町民税を始め各種税金を納期限内にその年度の全額を納入し、ほーらい館の年会員である事も報告致します。

分り切ったことでもあります。伊仙町の財政は、町民の税金で成り立っております。税金を納めると町はその金を町負担金として活用し、その数十倍の補助事業を行う事ができ、結局町民に返ってきます。先ず自分の義務を果たすこと(税金を納付する)が始まりであります。町が赤字でなるとその負担は、全て町民にかかることになる。町民も行政も一致協力して、町財政の健全化に努めなければならぬが、町債務償還認識について、その考えを聞きます。

(国・県・町)も個人も借金を返済日に支払えない債務不履行になれば破産・破滅であります。このような事になれば債権者は冷酷非情であります。提出された町の財政見通し資料によりますと、現在ある財政調整基金3億1,600万円、減債基金8,000万円の総額3億9,600万円を平成24年度6,100万円、25年度2,700万円、27年度2億300万円をそれぞれ当初予算に繰り入れ予算計上して持

ち堪えても、平成28年には貯金0、実質収支の赤字1億4,300万円、実質公債比率18.8%で起債許可団体になるとの予測である。

この財政赤字を直視し、その原因が財政運営のミスである事を反省して、明確な処方箋を持った財政再建計画を策定し、今断行しなければ現状を先送りする事は財政赤字を大きくするだけで取り返しの出来ない緊急事態にあると考えるが、財政見直しや行政改革について、どう考えているか。

答 財政が厳しいから全てカット・カットでは衰退して行きます。「ほーらい館」建設についても、箱物で経営が厳しいとの議論もありましたが、医療費縮減効果とが、今まで伊仙町には来た事もない天城町や徳之島町の人々が来られて交流が生まれ、親交が深まり広がって新たな歴史文化の拠点として大きな価値を生み出しております。

財政については、「ほーらい館」、各小・中学校建設で起債残高が増高し、平成25年〜26年がピーク時であります。町が打ち出した農業所得50億円達成を成し遂げた得た金は、町外には出さない、農家所得はちゃんと税務申告をする、人口を増やしていく町にするなどの政策課題を含め、財源歳入を増やす事と行政コスト削減する両方の努力

を続けながら歳入と起債償還の整合性を保つ財政健全化計画は必要であります。これまでの財政運営ミスを反省してとの事ではありませんが、財政運営にミスはなかったと思っております。(稲 総務課長からの詳細説明)

上木議員の町財政の見通しと財政健全化についての質問であります。今現在赤字になつていふと言う事ではありません。提出したレジメにもありますように、このまま手をこまねいて財政健全化の努力をしないで借金をし続けると赤字になりますよとの説明資料であります。

平成27年〜28年度に起債償還額が増高するのは、国営三京ダムの負担金1〜2期分合わせて10億円の償還期に入り、その債務負担金が増大するからであります。

私どもの仕事は、町民の要望に答えるのが仕事であり、更には、予算を預かる者として歳入を測り歳出を測る、歳入に見合った歳出に持つていくのが仕事であります。財政の再建・健全化についての計画書または、その類の文書がないかとの事ですが、そのような書類資料は何もありません。しかし、実質公債比率18%以上になりますと起債制限団体になりますので、間違つてもこういう事に陥らないように努力してまいります。



伊藤一弘議員

(農業行政について)

問 現在、町が取り組んでいる新しい品目「コーヒー・ポタンボウフウ・ゴマ」に対して今後の計画、進捗状況はどうなっているのか。

答 ボタンボウフウ育苗の状況から申し上げますと、平成22年8月11日に、鹿児島県農業開発センターの方で、播種をお願いし、9月14日に会員の農家と一緒に鉢上げをし、町の試験圃場分として、4,200本、生産者の育苗分として、1万2,000本を鉢上げしました。生産者組織にしましては、平成22年11月24日に総会をいたしまして、生産者数が21名、栽培予定面積100aという事です。

2品目のコーヒーについては、沖縄の方で苗木を購入し、平成22年10月18日から20日の3日間で、約6,000本鉢上げをし、町の試験圃場に植え付けをしてあります。

黒ごまに関しては、生産者がある程度固まっているので、その方達を集めて23年の1月頃には、生産者の立ち上げ総会をもっていけないかなと思っています。

ます。

問 老朽化住宅、住宅跡地が未だに整理されていないが、今後の対策見通しはあるのか。

答 現在、空き家で人が住んでいない状況になっている住宅は、全体で24戸あります。今年一杯で、長寿命化計画において取り壊すかどうかという判断を3月までいたします。今後取り壊し可能なものについては、取り壊し、払い下げ等については、払い下げる方向で検討して良いんじゃないかと考えているところです。

(農業高校跡地利用計画について)

問 光ファイバーの工事が着工し、九電工の事務所、宿舍、食堂として利用されているが、工事終了後の利用計画と見通しはあるのか。

答 検討委員会のなかで、具体的に出ている案に関して、教育委員会、歴史民俗資料館、そして埋蔵文化財センター、それから経済課の方では、分析室、研修施設、議会からは大島養護学校分校の件の用地予定地として考えている状況である。



明石秀雄議員

平成22年12月定例議会において、一般質問の許可を頂きましたので、次のことについて町長の見解及び説明を求めました。

①平成22年9月に発覚した職員の不祥事の真相、町民への説明、及び謝罪、再発防止策等について、町長の説明を求めた。

町長の真摯な答弁があり、町民に対する謝罪及び再発防止は並々ならぬ決意が示されました。また、詳細については、町広報等で町民の皆様には知らされることになりました。

②行政改革、財政改革について町長の見解を伺いました。

本町の財政力指数は、人口の減少、全国平均を上回る高齢化率に加え、農業を主体とする産業しかなく、財政基盤が極端に弱く、類似団体を下回っているなかで、組織を見直して、行政改革を行うことにより、歳出削減すなわち、行政コストの削減をはかり財政健全化をする必要があると思うが、このことについて町長の見解を伺ったところ、財政については平成24年度

からかなり厳しくなってくるとのことでしたが、財政健全化に向けた、対策等は示されませんでした。また、このままの状態が続けば、平成27年度ごろになると赤字財政になることもある旨示されました。

しかし、最後まで財政健全化策は示されませんでした。さらに行政改革についても、私とは主張が平行線で終わりました。今後さらに予算審議等になかだ議論をしていきたいと思えます。



琉 理人議員

(行政について)

問 町主催の年中行事について住民参加はどのようになされているのか。

答 町の三大行事等に関しまして、町民体育祭への参加はかなり高いが、産業祭・文化祭はいろんな知恵を出して参加をしていただくよう取り組んでいきます。

住民参加、地域力という形で、住民がいかに行政に参加するかと言うことが非常に大事で、職員と地域との信頼関係をもっともっと強固にしていかな

ければいけないと思います。

問 綱紀肅正については、問題が発生していないときに発生しないように、何回となく指導の徹底を質疑要望してきましたが、今後の対策と監査委員の常勤化や機能強化は図れないか。

答 職員は町民全体の奉仕者であることをもっと自覚し、平素から厳正な服務規律を保たなければならぬ。中層構造的な組織体制をしっかりと確立させて、それが末端まで浸透するような体制でなければならぬところをございます。今後は、特に倫理行動を徹底させて、職務専念義務の意識を高揚し、監査委員の常勤化、外部監査委員、税理士等の導入も検討してまいりたいと思えます。

(財政について)

問 各種税の徴収率向上対策と納期の細分化や選択制度の導入は考えられないのか。

答 指摘された財政健全化も、自主財源の確保が第一であり、徴収率アップに向けて全力で取り組み、納期の細分化や選択制度は前向きな提案だと思っております。細分化につきまして、一部実施をし、一括方式等の選択制度は、個々に申し出れば対応できると思えます。

(教育行政について)

問 障がい児教育の養護学校分校を農高跡地に要望する取り組みについて、どの様になったのか。

答 今までの経緯を基に、今後は徳之島療育研究会のアンケートの結果や南三島教育長会での共通理解を得て、特別支援連携協議会でも強く訴え、平成23年5月25日の奄美群島市町村議会議員大会で提案議題として取りあげて頂き、全郡的に町長や教育委員会、議会、療育研究会や保護者会が連携をして設置に向けて取り組みたいと思います。

問 各種スポーツ環境整備の実態と各施設利用者からの要望等はないか。

答 両親が地元出身で、プロ野球の内投手が日本一の快挙を成し遂げ、子供達にも夢を与え、これからスポーツ環境整備についても前向きに考え、徳島県阿南市で全国大会等を誘致して、球技場で地域づくりをしている例もありますので、財政状況を見ながら検討していきます。

(産業について)

問 農業経営の安定化対策については、町行政も取り組んでいますが、現在農業経営を圧迫しているのは、農業機械の購入と償却です。今後、町の補助がどれだけ見込めるのか、対策はど

う考えているのか。

答 近年、補助事業の形態が国直轄形式で事業主が直接国へ申請しております。計画書等の書類関係の手伝いを経済課で行っております。今後は、農家と連携を取りながら事業推進していくことが求められます。

問 基幹作物や畜産等にも今まで以上に推進しなければなりません。新たな作物の導入や畜産においては、生産牛に加えて酪農乳牛の導入は考えられないか。

答 農業振興計画に基づき、事業は優先順位を付け事業を行っております。酪農が是非必要であれば、調査をして振興計画に盛り込んでいかなくはなりません。今のところ白紙の状態でございます。

(建設関係について)

問 道路整備による舗装工事と水道工事の連携は十分にとれているのか。また土地改良整備事業による道路工事と水道工事の連携はとれているのか。

答 今までは、水道は厚生労働省、道路は国土交通省、土地改良事業は農水省と国の縦割りの中で無駄も生じていましたが、これからは地域主権となり、今まで続いた国のシステムが変わっていく時代になります。こ

れから計画する東部、中部地区の水道事業に関しては、関係各課において全て協議をして、着工していきます。

問 個人の財産、町の財産を巡る問題、あらゆる開発の基礎基本である地籍調査の現状と今後の取り組みについてどうか。

答 要地籍対象面積57.17km²中5.68%の3.25km²が調査済み、平成22年度は0.28km²、平成23年度予定は0.2km²と、国の予算配分等、一筆ずつの境界の査定ですので作業内容も簡単に進むものでもないのが現状でございます。しかし、今後とも国への予算配分を含めて積極的に対応を早急に進めていくよう努力致します。

(環境衛生について)

問 観光地のトイレの整備と管理はどうなっているのか。

答 喜念浜、泉芳朗館、泉重千代宅、瀬田海海水浴場、犬田布岬、小原休憩所の6カ所については、毎週月曜日、金曜日に企画課職員、臨時職員でトイレを含め周辺清掃を行っています。

問 農業生産所得向上に取り組む伊仙町において、農業従事者の用畑の公共トイレの設置は考えられないか。(東部・中部・西部に2カ所位ずつ観光ト

イレと共用する施設設置の考えはないか。例：小原海岸トイレ)

答 東部地区においては、目手久闘牛場の裏側、東面縄からゴラン線に農作業準備休憩室を予定していますが、施設規模、利用率、維持管理、県の財政事業等で先送りになっている現状です。今後地元の地権者と協議、調整をし、県に強く要望致します。

(社会福祉について)

問 身障者の雇用について、町内においてどんな事業所、職場があり、雇用率はどれくらいか。

答 国の基準では、一般民間企業で、1.8%、地方公共団体で2.1%、町内では役場が3.6%、南西糖業伊仙工場では2.6%の雇用率となっております。

問 人工透析患者の医療費の負担について、医学的にも移植手術の成功率は近年非常に高く、患者によっては、移植手術を望んでいる人が多いようです。病気が離島のハンディを負いながら一生懸命頑張っています。町として手術費用、旅費の負担はできないものか。

答 島内でも患者さんのなかに腎臓移植手術を受けて、かなり喜んでいる状況にあります。最

近の事例で手術にかかった費用が664万円個人負担が2,500円です。しかし、島内での手術がまだできず、島外の医療機関に頼らざるを得ません。医療費以外にも旅費、宿泊費が多額の出費が予想されますので、そういう状況も把握しながら今後、諮問機関、福祉政策審議会等の審議を基に、前向きに検討したいと考えております。現在町内に人工透析患者数は13人おります。人工透析の医療費用額は総額5,294万6千円で、1人あたり407万2千円と言うデータもあります。

(観光行政について)

問 伊仙町の中心地、役場周辺、県道沿い、ほーらい館周辺の商工業の現実と今後の地域力の強化には町は対策をどう考えているのか。

答 伊仙町中央商店街が役場を中心に36店舗ほどございましたが、県道拡張後に一部金融機関等の15店舗減りました。また新たな通信サービス業や飲食店のオープンと自助努力は見られるが、現在20有余店舗となっております。商工会も商店街との連携を密にして、活力ある町づくりに取り組み、伊仙町が発展・努力することです。

～東日本大震災被災地並びに被災者へ～

伊仙町議会より、被災地ならびに被災者へ一言お見舞いと哀悼の意を申し上げます。

平成23年3月11日 午後2時46分頃、東北地方太平洋沖を震源とする、マグニチュード9.0の大地震が発生し、これに伴う津波などの被害等で多くの生命と財産が一瞬にして奪われました。これは1923年9月に起こった関東大震災に次ぐ大災害であり、同じ日本国民として大きな衝撃を受けたとともに、深い悲しみを覚えました。

また、余震や2次被害で原発の放射線漏れから被爆し、今後の健康状態に不安を残すことも懸念される事等が次々に起こるなど、復興に向けて予断を許さない状況にあります。

他にも町民の皆様の親族や知人の方々が被害に遭われ、公僕の身として安否が気遣われます。

今後、伊仙町議会としては、町執行部をはじめとする三町行政機関が協力し、一日も早い復興を願うとともに被災地への強大な支援と、今後徳之島においても、この痛ましい自然災害等から町民の生命と財産を守る為、あらゆる対応策や施策を改めて検討し、被害を最小限に抑えられるよう、日々精進してまいります。

今後も、町民の皆様の多大なるご理解とご協力をお願い申し上げ、また被災地の方々へのお見舞いと一日も早い復興を願い、ごあいさつとさせていただきます。

平成23年3月15日 伊仙町議会

第54回奄美群島市町村議会議員大会（伊仙町会場）開催に伴うお知らせ

来る平成23年5月25日（水）に、旧鹿児島県立德之島農業高校体育館において、「第54回奄美群島市町村議会議員大会」が開催されます。

この大会は、奄美群島における全市町村議会議員が一同に介し、各地区における課題や要望を協議し、国や県に向けての要望を集約した上で実現に向けて決議する大会であります。また、今回ご来賓として地元から選出された国会議員並びに県議会議員の皆様をはじめ、元総務省大臣官房審議官、日本郵政公社常務理事などを歴任された徳之島出身の稲村公望氏（イナムラ コウボウ）を議員研修会の講師としてお迎えし、「奄美から世界へ情報発信」と題して講演を頂きます

なお、今年度の徳之島地区提出議題に関しては、当番町の伊仙町議会が、国や県で課題となっています。障がい児に対する特別支援教育の普及と福祉の充実を図るため、「鹿児島県立德之島農業高等学校跡地に大島養護学校分校の設置について」を提出いたします。提案理由として、近年養護学校や特別支援学級に在籍している児童生徒が増加する傾向にあるなかで、国や県が福祉の充実等を唱えながらも、障がいのある子ども達だけが置き去りにされている現状であります。この徳之島においても例外ではなく、現在訪問教育か家族が離ればなれになる島外への特別支援学校への進路を余儀なくされており、故に「障がい」と「離島」の二重のハンディを負いながら教育を受けている児童達に、平等な教育と地域社会の一員としての身分を確立する為、徳之島にも施設整備が必要と考え伊仙町議会は提案することと致しました。町民の皆様におかれましても、障がい者に対する思いやりや今まで以上のご支援とご協力を賜り、この議題が拙速に国や県で協議され、実現されます様に何卒よろしくお願い致します。

また、5月24日～5月26日までの3日間、町民の皆様並びに町職員全員が最高のおもてなしをして頂けるよう、合わせて町議会よりお願い申し上げます。

記

日 時：平成23年5月25日（水）午前9時～

場 所：旧鹿児島県立德之島農業高校体育館

徳之島地区提出議題

「鹿児島県立德之島農業高等学校跡地に大島養護学校分校の設置について」

伊仙町長等の給与の特例に関する 条例の制定を修正可決

昨年、町職員による敬老年金着服事件が発覚し、町民並びに関係者の皆様へ多大なるご迷惑と町政に対する信用の失墜に繋がった事は、町議会としても大変遺憾であります。

「もてなしの町」・「農業生産所得50億円達成目標」を町の重要施策に掲げ、町長以下全職員が町民と正面から向き合い、切磋琢磨している矢先での不祥事。この件を議会も重く受け止め、第3回臨時会（平成22年11月24日開会）において町執行部から提出された「伊仙町長等の給与の特例に関する条例の制定」に対して、議員発議において更に厳しい修正案が本会議へ提出され可決されました。

町長以下全職員が、議会において出された結果を踏まえて更に精進し、行政サービスの向上、信頼回復に努めるべく真摯に取り組んでいくことを期待します。

町民の皆様におかれましても、町議会並びに町政へのご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

伊仙町議会

伊仙町商工会へ要望書を提出

第4回定例会に、本町商工会より提出されました「商工会に対する平成23年度補助金等に関する要望書」に対する審議結果及び議会からの要望書を、去る平成22年12月22日（水）に伊仙町商工会事務局において提出致しました。

要望書の要旨として、商工会の自立的発展や消費者ニーズに合わせたサービスの推進を図り、伊仙町における更なる経済発展に寄与頂けるよう強く要望したものであります。

町民の皆様におかれましても、町内の活力でもあります商店街を今まで以上に活気あるものへとする為、特段のご配慮を頂きますようお願い致します。



常議長より商工会 清瀬辰郎会長へ
要望書を提出致しました

議 会 の う ご き

議会の動き（平成22年10月～平成23年1月末日まで）

月 日	件 名	場 所	参加者
H22/10/ 1	平成22年度地域情報通信基盤整備推進交付金事業 電気通信工事安全祈願祭	ほーらい館	全議員
10/ 2	鹿浦・馬根小学校運動会	各小学校	全議員
10/ 3	喜念・面縄・伊仙・阿権・犬田布 糸木名小学校運 動会	各小学校	全議員
10/ 5	11月号「議会だより」 広報編集委員会（第1回目）	議会委員会室	広報編集委員
10/ 8	第54回奄美群島市町村議会議員大会に関する打 ち合わせ	議会委員会室	正副議長・事務局
10/12	仙寿の里（増床工事）に伴う地鎮祭	特別養護老人ホーム 「仙寿の里」	正副議長
10/13	11月号「議会だより」 広報編集委員会（第2回目）	議会委員会室	議長・広報編集委員
10/16～17	関西犬田布校区会	大阪市	副議長
10/20	大島養護学校長・徳之島障がい児親の会との情報 交換会	徳之島町 生涯学習センター	議長・総務文教厚生常任 委員長 事務局
10/27～11/ 1	金子県議会議長・原田県教育長へ大島養護学校分 校設置について要望書を提出	県議会・県庁	議長
//	関西徳州会創立60周年記念大会	兵庫県尼崎市	議長
11/8～10	離島議長行政調査	東京都大島町	議長
11/15～18	町村議会議長全国大会	東京都NHKホール	議長
11/23	伊仙町産業祭	直売所「白菜」	全議員
11/24	第3回伊仙町議会臨時会	議会議場	全議員
11/26	戦没者慰霊祭	義名山神社	議長
11/28	第3回徳之島長寿世界一・子宝日本一の里ウォー キング大会	町内一円	全議員
12/ 5	第5回いせん・食の文化祭	ほーらい館	全議員
12/ 7	第4回伊仙町議会定例会告示		
12/ 8	議会運営委員会	議会委員会室	議長・議会運営委員
12/13	第4回伊仙町議会定例会開会	議会議場	全議員
12/15	徳之島障がい支援センター研修・小規模小学校体 育館・遊具現地調査	徳之島町内施設 町内小学校	全議員・事務局
12/16	劇団四季ミュージカル観劇	徳之島町文化会館	全議員・事務局
12/17	第4回伊仙町議会定例会閉会	議会議場	全議員
12/22	伊仙町商工会へ商店街に関する要望書を提出	伊仙町商工会事務局	議長・事務局
H23/ 1/ 4	伊仙町消防団出初め式	伊仙中学校グラウンド	全議員・事務局
1/ 5	伊仙町成人式	ほーらい館	全議員
1/10	徳之島フォーラム	ほーらい館	全議員
1/15	大島養護学校分校・分教室に関する研修会	徳之島町 生涯学習センター	全議員・事務局
1/17	常任委員長研修会	奄美市	総務文教厚生・経済建設 常任委員長 事務局長
1/18	正副議長・事務局長研修会	奄美市	正副議長・事務局長
//	県立大島養護学校・身体障がい者授産施設ワーク センター奄美研修	奄美市	正副議長・2常任委員 長・福留議員 事務局長
1/27	県下町村議会議員研修会	鹿児島市	全議員

※掲載されている行事以外にも、各種協議会及び集落行事等にも出席しておりますが、予めご了承下さい。

出初め式開催



大久保町長を先頭に横山修二団長以下消防団員が力強い行進を行いました。



永田 誠議員も消防団員として迅速なポンプ走法による指示を行いました。

あらゆる災害から町民の生命と財産を守る、伊仙町消防団による出初め式が平成23年1月4日（火）に伊仙中学校グラウンドで開催されました。

出初め式は、午後2時に役場、伊仙中学校校間を、天城中学校吹奏楽部の演奏に合わせてパレードを行い、その後グラウンドで式典を行いました。

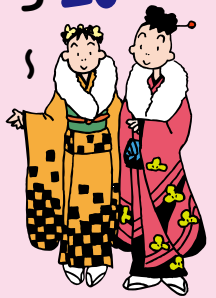
式典では、常議長より「団長を中心に団員が一致団結し、消防体制の充実強化を図るとともに、災害から町民の尊い命と、貴重な財産を守る重大な任務を担っているため、団員の皆様方には活動目的をよく理解され、大切な任務の精進されますようお願い致します。」と祝辞を述べました。



平成23年

伊仙町成人式

新成人、故郷で集う



新成人へ祝辞を述べる常 隆之議長

のある太鼓演奏があり、出席された方々から盛大な拍手が贈られ、清々しい開式となりました。

また、式典では常 隆之 議長議長が新成人へ向け「皆さんは、心身ともに成長され、次の世代を担う立派な成人になられました。明るい希望に満ち溢れたこれからの人生を期待しつつ、豊かな教養と民主的な文化人としてさらに成長して頂きたい」と祝辞を述べました。

さらに全議員も輝かしい門出に立ち会い、島の宝である若者の住みやすい町づくり、魅力ある町づくりに尽力するべく、決意を新たにいたしました。

平成23年伊仙町成人式が1月5日（水）徳之島交流ひろば「ほーらい館」癒ていなホールにおいて盛大に開催されました。

式典に先立ち、「黒潮太鼓」による迫力

編集後記

平成23年も早や4月となりましたが、公的機関では行政年度が平成23年度を迎え、大変忙しい月です。議会だよりも平成22年度分最後の発刊になり、11月臨時議会と12月定例議会をまとめて載せてあります。

さて、平成22年度を振り返りますと、米軍基地移設問題に始まり、TPP問題やさまざまな諸問題を含めた民主党政権が伊仙町行政へも大きく左右されます。

農業生産所得向上に取り組み私達伊仙町においては、基幹作物のサトウキビや畜産、園芸作物に加えて、新たな生産物の導入や、障がい者教育、高齢化に伴う福祉政策を進めながら、TPP問題や米軍基地移設問題で、揺れる国政を見極めながら、平成23年度は卯年にちなんで、大きく飛躍できますよう、町行政、議会、町民が一体となって取り組んでいければと切望致します。

(文責 琉 理人)

議会広報編集委員会

- 委員長 美島 盛秀
- 副委員長 清水喜玖男
- 委員 琉 理人
- 委員 前 徹志
- 委員 伊藤 一弘